

定例研究会要旨

日時：平成 27（2015）年 7 月 13 日 14:00～16:00

会場：東京外国語大学 語学研究所

“Analyser la structure du français oral spontané selon la grammaire de l’intonation”

（イントネーション文法による口頭フランス語の構造分析）

発表者：セリム・ユルマズ（Dr. Selim YILMAZ, マルマラ大学教授）

本講演では、*Grammaire de l’intonation* (1998)が、自然な状況で用いられるフランス語の話しことばをどのように分析しているのか解説した。

MorelとDanon-Boileauによって構築された同理論においては、話しことばがどれほど複雑なものであり、書きことばと異なっているかが具体例を用いて説明される。同理論では分節要素は超分節要素から独立するのではなく、お互いに関連付けて分析される。要素は一般に、テーマ、レーマ、ポスト・レーマに分けられ、それらを統辞構造に対応させることで、韻律的構造が現れてくる。

本講演においては、*Grammaire de l’intonation* の理論が、話しことばフランス語の解明に貢献するだけでなく、トルコ語のような異なる機能をもつ言語構造を分析するためにも応用することが可能であり、かつ有効なシステムであることを説明した。

（原文はフランス語、川口裕司教授訳）